

今のうちから、入試の事を知っておこう！！

学校推薦型選抜や総合型選抜では「学習成績の状況」（評定平均値）が点数化されることがあります。1 年生でしか履修しない教科科目の評定は 1 年時終了時点で決まります。定期考査だけでなく、日頃の授業態度や小テスト、提出物への取り組み、学習に向かう姿勢も評価されることを心得ておきましょう。また、探究論文を活用して、学校推薦型選抜（公募）に挑戦することもできます。大学入学共通テストでは、授業の一場面、世の中で起きている様々な事柄から課題を発見し、解決方法を構想する場面、資料やデータを基に考察する場面など、学習の過程を踏まえた問題設定がされます。知識だけでなく、身に付けた思考力や判断力も、入試では試されるのです。

2 学年進路ガイダンス「冬は 3 年生の 0 学期！受験生になる」

メモを取りながら、駿台校舎長の話に耳を傾ける 2 年生



先月の 20 日に行われた進路ガイダンスの内容を覚えていますか？

駿台校舎長の長田裕紀さんからの最初の言葉はどのような内容だったのでしょうか。

- ① **時間**は有限である
- ② **情報**（知っている、ということ）の重要性
- ③ 受験生の自分を **イメージ** できるか
- ④ なぜ **今**、**高校 2 年生の 11 月**に進路ガイダンスを行うのか

現役合格できなかった理由の多くは、受験を甘く考えた、受験勉強開始が遅かった、計画的に学習することができなかった等、「部活があるし、引退したら～」・「塾や予備校に通ってから～」と後回しにすることでした。

受験勉強を意識して**今すぐ行動し始めましょう！！**悠長なことを言っているとせっかくのチャンスが逃げて行ってしまいます。何かとすぐにやらなくていいような都合の良い理由をつけてしまいがちですが、2 年生の諸君！！繰り返し何度も言います。受験を意識し、今すぐ取り組みを始めよう！！一般入試に向けて実際に共通テストの問題にチャレンジ（1・2 年生は、**1 月 19 日～共通テスト同日模試を自宅で受ける**予定です）したり、模試や期末テストを振り返ったりして、受験を意識した学習を進めていきましょう。そして**1 月 17 日（金）はベネッセ記述校内模試**があります。**冬休みの学習計画をしっかりと立て**、苦手科目・分野の取り組みを行いましょう！

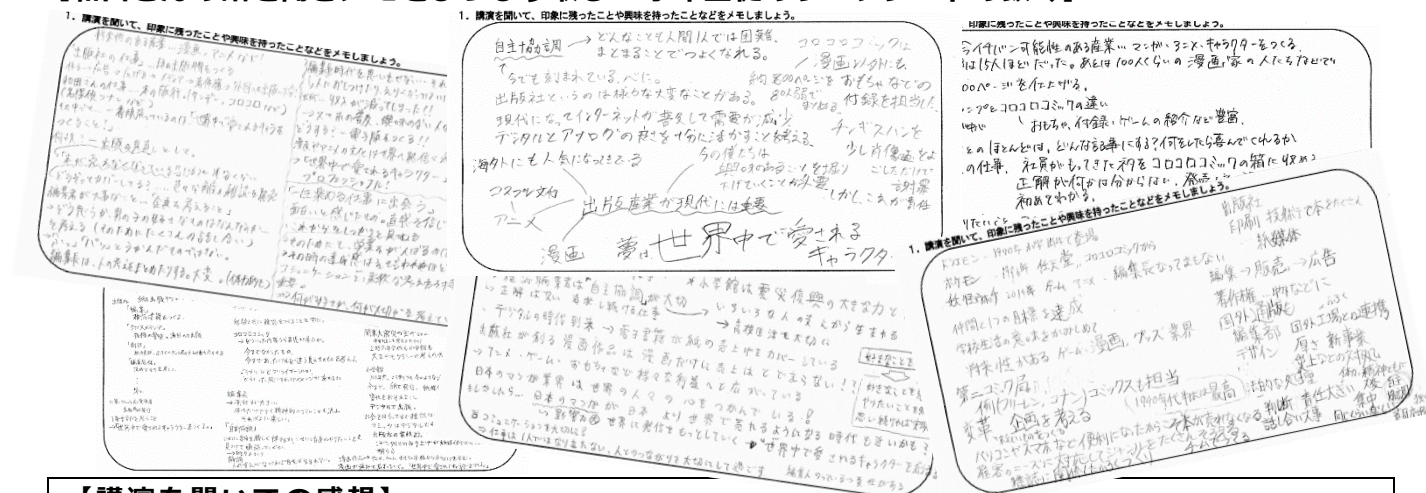
1 学年 卒業生講演「フロンティア講座」

令和 6 年 1 月 13 日（水）に、進路指導の一環として、100 年の歴史と伝統を持つ本校の卒業生で、各界の最先端で活躍されている方から講話をいただくフロンティア講座が開催されました。

本年度は、株式会社小学館 第二コミック局プロデューサーである**和田 誠（わだ まこと）さん**（上野高校 42 期生）をお招きし、「世界中で愛されるキャラクターを創る」と題してご講演をいただきました。講演の最後には、生徒と一緒に校歌を歌い締めくくり有意義な時間を生徒は過ごすことができました。

高校生活のなかでは「好きなことを見つけることは、勉強と同じくらい大切」など、多くの言葉をいただき、望ましい職業観を育てるとともに、自分自身の生き方を考えさせる貴重な時間となりました。

【和田さんの話を聞きメモをびっしり取る 1 学年生徒のワークシートの数々】



【講演を聞いての感想】

- ・ 上野高校と小学館には驚きの共通点があった！という講演概要に引き込まれた。不可能と書いていても大きいことを成し遂げることを想像できる人が「成功者」になるのだと思った。大学入試がいかに大切かということも学べた。
- ・ 小さいころから大好きだったものを大人になっても「ずっと追いつけて努力している姿がとてまかつこ良かった。雑誌や漫画はすごい力を持っていて老若男女問わず心の支えになり、僕たちの生活に欠かせないものだ」と実感した。自分がどんな道に進むのか具体的に決めていかなければいけないが、もし自分が本当に夢中になれる楽しくて面白いものを見つけて、それにかかわる仕事ができればいい人生になるのかなと思った。
- ・ 自分の夢について 1 つにしぼらず視野を広く持ち、色々な体験をし、知識を取り入れ、少しずつ本当にしたいことを発見していきたい。
- ・ 私は作品を作る仕事に興味があるが、そういった仕事以外でも新しいものを怖がらず取り入れること、様々な人への配慮を忘れないこと、コミュニケーションを積極的に行うことの 3 つは必要なことだと感じた。また、自分の好きな事、得意なこと、社会から求められていることが重なる仕事は何なのか探してみたい。

【志望大学の決め方】⇒自分で選ぶ、決めることが何より大切！！

2 年生は第一志望大学を絞り込む時期にきています。志望大学に確固たる思いが無く、3 年生になって安易な行動へと向かう生徒になってしまいます。安易な行動とは、①**安易に志望を下げる**②**安易に科目を絞る**③**安易に推薦利用を考える**等です。志望校決めは今後の学習の大きな指針になるため、自分自身と向き合い強い動機を持てる理由付けをして決定することが重要です。そうでないと周囲に流され、ふとした拍子に受験勉強を続けるモチベーションが保てなくなってしまう。まず大前提は「**自分は何をやりたいのか**」です。勉強したい内容が決まっていれば、その学部がある大学を選びます。同じ学部でも大学ごとに得意分野やカリキュラムが異なります。また、専門分野の第一人者とされる教授から直接学べるチャンスがあるのも大学の魅力です。「この人に教わりたい」と思える教授のいる大学を選ぶというのも良いでしょう。取得できる資格や就職実績で選ぶ、文化や校風によって選ぶ、受験・試験の仕組みを元を選ぶ、という方法もあります。ここでしか学べない専門学部がある場合、特定の学部を選ぶことになります。**裏面にも埼玉大学を志望した理由**について、詳細に書かれています。ぜひ参考にしてください。

模試を活用しよう！

- ①模試の復習は、時期をあけて**3 回**おこなう
 - ⇒ 1 回目：模試受験後 24 時間以内に自己採点をしつつ、間違えた問題の解き直しをおこなう。
 - ⇒ 2 回目：模試受験後、約 1 カ月後。模試の帳票が返却されたタイミングで**自己採点が正しかったかを確認しつつ**、再度間違えた問題の解き直しをおこなう。
 - ⇒ 3 回目：2 回目から 2～3 カ月後にある長期休み(夏休み、冬休み)中に再度間違えた問題の解き直しをおこなう。

11 月記述模試の解き直しはしましたか？

高 2 生の受験勉強

1. **学習時間の確保**
⇒ 学年+2 時間は学習する。
2. **英数国の教科書内容の定着**
⇒ 高 1・2 範囲は 3 月までに全てマスターする。
3. **志望大学の赤本をみる**
⇒ 科目の難易度・時間の確認。
4. **理科・社会への取り組み**
⇒ 学校での授業内容は押さえる。

大学訪問 埼玉大学を訪れて

埼玉大学は、埼玉県のさいたま市にキャンパスを持つ、教養学部・教育学部・経済学部・理学部・工学部の総合大学です。上野高校から毎年合格者を出している（76期生2名、75期生3名、74期生3名）上高生に人気の国公立大です。

【埼玉大学のアピールポイント】

① 自然に囲まれた居心地のよいキャンパス！上野高校から意外と近い！

上野高校を出て、JR上野駅から宇都宮線（高崎線）にのり、浦和で乗り換え、北浦和駅まで24分です。北浦和駅西口でバスに乗り換え15分位で埼玉大学に到着しました。緑が豊かでグラウンドも広く、陸上競技場・野球場・サッカー場・テニスコート・ラグビー場などの体育施設が遠くに見え、たくさんの校舎や図書館・研究所が建ち並ぶ恵まれたキャンパスです。道も広々として、ケヤキ並木も美しく、国公立大ならではのすばらしい環境と設備が印象的でした。

② 5つの学部が同じキャンパスの総合大学！

全学部が1つのキャンパスにあるので、色々な学部の授業が受けられ、サークル活動などで様々な学部の友人とも交流できるそうです。

③ 世界で活躍できるグローバルな人材の育成に力を入れる！

埼玉大学では、教養学部や経済学部などの文系学部を中心に、海外留学・国際交流などのプログラムを充実させています。またすべての学生を対象として、TOEIC受験を必修にした習熟度別クラス編成や留学希望者向け特別クラスの開設、コンピュータを使った英語学習システムなど世界で活躍できる人材作りを目指しています。また外国人留学生も多く受け入れて、国際的な大学に生まれ変わっています。2020年度にはキャンパスと隣接して、国際学生寮「インターナショナルレジデンス」が新設され、日本人学生と外国人学生がともに生活することで、交流を深めています。



④ 国公立大ならではの学費も安く、少人数教育！

埼玉大学は国公立大なので、各学科の人数が少なく、少人数教育が徹底されています。特に理学部・工学部は、人数の割に設備・施設が充実しており、学費も私立大学に比べて、圧倒的に安く済みます。理系の人は大学院に進む学生が多いので、埼玉大の学費の安さはとても魅力的です。企業と連携した奨学金制度も充実しており、経済的な事情で入学金や授業料の減免や徴収猶予を受けられる制度があるのも国立大学ならではのです。

【埼玉大学に合格するには】

① 学校推薦型・総合型選抜入試で合格する 学校推薦型入試では各学部学科によって評定平均の条件があり、主に小論文と面接で判定されます。共通テストを課して判定する学科も多いです。教育学部の学校教育課程の音楽・体育・美術専攻では実技試験もあります。

総合型選抜入試は、経済学部（共通テスト受験必要）と理学部（生体制御学科）・工学部（情報工学科）で実施されており、専攻分野に興味を持って探究して、出願条件に合っている人は、おすすめの制度です。

② 一般受験で合格する 埼玉大学の一般入試は共通テストを受験する必要があります。学部によって違いがありますが、英語・数学・国語・地歴公民・理科・情報の6教科が必須です。基本パターンは文系が英語・数学ⅠⅡA B C・国語に加えて地歴公民から2科目・物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎から2科目、理系は英語・数学ⅠⅡA B C・国語に加えて地歴公民から1科目・物理・化学・生物・地学から2科目です。

2次試験は学部学科によって設定されます。経済学部の国際プログラム枠入試は、英・国・地歴公民の3教科で出願できるので、私立型の勉強をしている人も狙い目です。2次試験は小論文が課されますが、詳細はホームページで調べてみましょう。

埼玉大学教養学部 K・Sさん(74期)

【効果のあった学習方法】

授業をしっかり受けて定期テストも頑張り、英数国の基礎を定着させました。国公立大や難関私大目標の人は、だらだら勉強しないで、集中力と効率に気をつけましょう。模試で失点した教科や分野があったら、すぐに復習すべきです。わからなかったら先生に聞いてください。

○英語：予習は大事です。文法や単語・熟語は学校でもらったものを繰り返しました。英語は配点が高く、学校の勉強中心に完璧にすることを目標にしましたが、英語は勉強しすぎることはありません。埼玉大は、共通テスト重視で、リーディングをメインに勉強していたので、合格点がとれましたが、私立大は苦戦しました。1・2年のみなさん、英語は最重要科目だということを忘れないでください。英語資格をとらなかったことも後悔しています。英検なら最低2級、できれば準1級を目指しましょう。英語資格を取得していると見なし得点制度を多くの大学で採用しており、入試でとても有利です。

○数学：毎日の復習が大事だと思います。教科書、青チャート、4プロなど問題をじっくり考えて解く習慣をつけましょう。

○国語：現代文は本を読むのが好きなので得意でしたが、得点が安定しない教科なので、古典で得点を安定させました。古典文法や漢文の句法を学校の教材やスタサプで復習したあと、問題集を解いたり、古文単語を暗記することで、実力がつきます。

○世界史：教科書と授業ノート、学校で使っていた問題集を完璧にすることを目標にしました。1問1答というよりも流れを理解しながら、暗記することに努めました。

○理科基礎：授業と定期テストに真面目に取り組んでいたのも、基礎は固まっていました。3年生のなってからは、共通テストだけの利用で、あまり時間をかけられなかったのも、効率重視で共通テスト向けの問題集のついた参考書で勉強しました。

【受験について】

一般受験を目指して毎日勉強していましたが、学校生活に真面目に取り組み、遅刻もなく成績もよかったので、学校推薦型入試を受けました。指定校推薦や人数制限のある学校推薦型入試は、3年1学期までの欠席日数が10日以内で遅刻・早退の合計数が20回以内というルールがあります。埼玉大学教養学部の推薦は、志望理由書・面接と小論文だけなので、どれだけアピールできるかが勝負です。例えば、「志望理由がしっかりしている」「探究で、志望する学問分野の本をたくさん読み深く研究している」「英語資格を取っている」「学外のワークショップ等に積極的に参加している」などです。私の場合は、読書好きでしたが、合格できませんでした。推薦入試に落ちた後は一般受験に気持ちを切り替えました。結果的に埼玉大学に合格しましたが、埼玉大学は共通テスト重視ということで、平均的に勉強して得意科目をつくらなかったことで、私立大学対策や埼玉大の2次試験で苦戦しました。私大や2次試験のために英語・国語・世界史を意識して重点的に勉強し、得意科目にしていれば、私立もMARCHEレベルに合格できたし、埼玉大の二次試験の英語（長文が出る）に苦労しなかったと思います。

【第一志望の決め方】

2年生の内に第一志望の大学や学部学科を決められると理想です。自分の場合は少し遅かったのですが、埼玉大教養学部は入学した後に専攻（「グローバルガバナンス」「現代社会」「哲学歴史」「ヨーロッパ・アメリカ文化」「日本・アジア文化」）を決められるので、自分に合っていると思いました。

【模試に向けて】

1・2年の内は「英数国の基礎を固める」「英語の予習や数学の復習の習慣化」が一番大事です。定期テストに加えて模試に目標を定めて、学習習慣を身につけていくと絶対に成績は伸びます！

埼玉大学教育学部 K・Sさん(76期)

【効果のあった学習方法】

1年から3年の夏休みまでは定期テストの勉強を中心に学校の勉強中心で基礎固めを行いました。教材も学校もらったワークを繰り返して行ったことが結果的に良かったと思います。共通テストは思考力や情報処理能力が重視されると言われますが、基礎がどれだけでできているかが勝負です。

塾に行かなかったのも、自習室をフル活用しました。夏休みも冬休みも自習室で勉強する習慣をつけておくとスランプにならずに済みます。睡眠もしっかりとって体調も維持していきました。

【第一志望の決め方】

どうしても国公立大に進学したかったので、自宅から通える国公立大を探していて埼玉大を見つけ、自分が興味のある教育心理学が少人数でしっかり学べるのが魅力でした。探究では大学で学びたいテーマと結び付けて研究していくと理想的だと思います。